

# LIVUS

## インテリアオープン収納 [ リビラス ] 取扱説明書

必ずお読みください



### 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。

間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

### 警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。



#### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガやけど・感電などをさす。

(※2) 物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

### 注意



**製品にのったり、ぶら下がったりしない。**  
棚板が落下し、けがをすることがあります。



**棚板に不安定な状態で収納しない。**  
不安定な物を収納すると、地震等の際落下して物が破損したり、けがをすることがあります。



**棚板に熱い物を置いたり、製品の近くに熱源を置かない。**

製品のそり・割れ・変形の原因となります。  
スタイラルタイプはこの限りではありません。  
熱に強い仕様になっていますが、使用時は必ず鍋敷きをご使用ください。また、アイロンかけを行う際は、アイロン台を設置した上で作業を行なってください。



**丁番などの可動部には手を入れない。**  
丁番などの可動部には手を入れないでください。  
手をはさんでケガをすることがあります。特に小さなお子様には充分ご注意ください。



**扉・引出しの開閉は静かに行なう。**  
扉や引出しの開閉は静かに行ない、必要以上に開かないでください。扉や引出しが破損・落下し、ケガをすることがあります。



**耐荷重の目安を必ず守る。**  
(裏面「耐荷重の目安」をご参照ください)

### ご使用上のお願い



**粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。**

表面に粘着跡がのこるおそれがあります。



**グレインタイプ 製品に直接水をかけない。**

表面化粧のはがれや反りの原因となります。水がこぼれる可能性のある物を収納する場合はあらかじめトレイなどをご利用ください。

**スタイラルタイプ 液体や汚れはすぐに拭き取る。**

水・薬品・汚れに強い仕様になっていますが、液体や汚れを長時間放置すると、不具合の原因となります。



**直射日光に当てない。**

製品劣化の原因となります。  
カーテンなどを設置できるように設計してください。



**筆記用具を直接使用しない。**

表面に跡が付く可能性があります。  
必ずデスクマットをご使用ください。



**暖房器具などを近づけない。**

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り・割れ・変色の原因になります。

### お手入れ



● **日常のお手入れ方法**

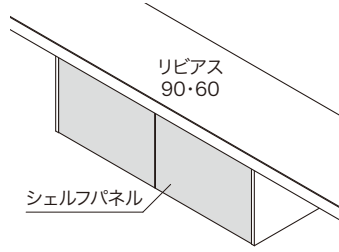
乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● **汚れがひどい場合**

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、よく乾燥させる。

# 扉の調整方法

## ■ シェルフパネル



シェルフパネルの左右の位置を調整（吊元：左側の場合）

①のネジを左右に回してシェルフパネルの左右の位置を調整してください。

吊元	ネジ①	シェルフパネル
左側	右回し →	右に動く
	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し →	左に動く
	左回し ⇐	右に動く

※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

① シェルフパネル側のネジを回す

シェルフパネルとシェルフボックスの隙間を調整

②のネジをゆるめシェルフパネルを前後に動かして調整し、適正な位置で締め直して固定してください。

② シェルフボックス側のネジを回す

シェルフパネルの上下を調整

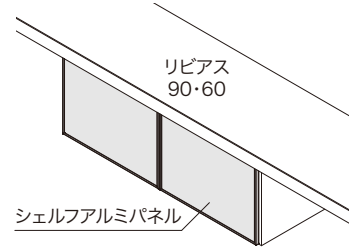
座金にある③のネジをゆるめシェルフパネルを上下に動かして調整し適正な位置で締め直して固定してください。

③ 上下調整ネジを回す

### ご注意

扉の調整後必ず2~3回開閉し、確実に付いていることをご確認ください。

## ■ シェルフアルミパネル



シェルフアルミパネルの左右の位置を調整（吊元：左側の場合）

①のネジを左右に回してシェルフアルミパネルの左右の位置を調整してください。

吊元	ネジ①	シェルフアルミパネル
左側	右回し →	右に動く
	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し →	左に動く
	左回し ⇐	右に動く

※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

① シェルフパネル側のネジを回す

シェルフアルミパネルとシェルフボックスの隙間を調整

②のネジをゆるめシェルフアルミパネルを前後に動かして調整し、適正な位置で締め直して固定してください。

吊元	ネジ②	シェルフアルミパネル
左側	右回し →	奥に動く
	左回し ⇐	手前に動く
右側	右回し →	奥に動く
	左回し ⇐	手前に動く

※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

② シェルフボックス側のネジを回す

シェルフアルミパネルの上下を調整

座金にある③のネジをゆるめシェルフアルミパネルを上下に動かして調整し適正な位置で締め直して固定してください。

吊元	ネジ③	シェルフアルミパネル
左側	右回し →	下がる
	左回し ⇐	上がる
右側	右回し →	下がる
	左回し ⇐	上がる

※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

③ 座金のネジを回す

## 耐荷重の目安値

表示のkg数以下の荷重でご使用ください。

下記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。

製品	耐荷重値(等分布)
リビアス 90	200kg (100kg/㎡)
リビアス 60	160kg (100kg/㎡)
リビアス 40	70kg (100kg/㎡)
オープンの場合	35kg (50kg/㎡)

製品	耐荷重値
シェルフボックス全体	60kg
シェルフボックス内可動棚板	30kg
ドロワーユニット 上部引出し	5kg
ドロワーユニット 下部引出し	10kg
シェルフ (1000mm 以下)	25kg
シェルフ (500mm 以下)	30kg